

GAIDAISEI'S 外大生の1冊

2009年度
アンケート
結果発表

《完全版》

関西外大のみなさんに
おすすめの本を聞きました！

図書館に寄せられた
アンケートの回答を
全部まとめて紹介します。

実施期間：
2009.11-2010.1

中宮・穂谷を合わせた全コメント付きの完全版!!
気合いを入れてどうぞ▶▶

≫内容の見方

『本のタイトル』

著者 ■ 図書館での所蔵

△ アンケートを書いた人・所属*

◎ おすすめコメント

(おすすめコメントは原文を尊重して掲載しています)

*) 所属 英米=外国語学部英米語学科
スペイン=外国語学部スペイン語学科
国際言語=国際言語学部
短大=短期大学部

≫もくじ

【ジャンル】		Page
小説	— 日本の作家	1
小説	— 海外の作家	6
エッセイ・生き方	— 暮らしのビタミン	8
ノンフィクション	— 人生のキセキ	9
教養	— 血となり肉となる	9
偉人伝	— 歴史に名を残す	10
語学	— コミュニケーション力	11
旅の記録	— 地図は真っ白	11
動物の物語	— いきもののぬくもり	11
コミック	— キャラクターの魅力	12
あの人の本	— 有名人のあれこれ	12

『吸血鬼はお年ごろ』

赤川次郎著 ■中宮

△短大◎主人公は、神代エリカという女子高生。高校最後の夏、エリカの通う女子高のテニス部員たちが合宿中に喉を噛み切られたような傷を残し、失血状態で惨殺された。吸血鬼の仕業だという騒ぎの中、エリカは事件の解明に立ち上がる。実はエリカは正統な吸血鬼の父クロロックと人間の母の間に生まれた。父とともに真相を追うが犯人によってエリカの親友がさらわれる。事件を解いていく本なので、続きが気になり、本に夢中になってしまいます。

『ハッピーバースデー』

青木和雄・吉富多美著 ■中宮

△英米◎主人公のあすかが心の病気から立ち直っていく様子が感動的でした。

▼△有川浩作品△▼

『阪急電車』

有川浩著 ■中宮・穂谷

△恋する19歳もうすぐ20歳・短大◎なんだか暖かい気持ちになれるお話が詰まっている本です。恋のはじまり、おわり、途中経過、すべてが詰まっています。恋愛ものが読みたい人にオススメです。一つ一つが短い物語になっていてお話がリンクしているので、とてもおもしろいです。私が個人的に好きな話は、マリッジブルーになっていて5年間つきあっていた女性が友達に彼氏をとられてしまう話です。「えっなんかドロドロしてそうやん。」って思うかもしれないんですけど、まったくそんなことないです。なんだか前向きになれるあったかい話ばかり。だまされたと思って読んでみてください。

△国際言語◎毎日ただ淡々とハシる電車だけれど、そこに乗る人々のドラマは様々な新しい出会いがある。

『植物図鑑』

有川浩著 ■中宮・穂谷

△さおりい・英米◎「躰のできたよい子です。」こんな素敵男子を拾いたい。でも恋人にはしたくない。でも一緒に暮らしたい♡雑草系男子(・▽・)♡ヒモにしたい男子No1♡

『図書館戦争』

有川浩著 ■中宮・穂谷

△きよえ・短大◎タイトルのとおり図書館の話なんですが、図書館が戦争するんです。戦いの場面では、登場人物一人一人の性格がすごい出ていてかっこいいです。でも私が一番好きなのは、主人公と上官のやりとりで、主人公が上官にドロップキックをくらわせたりと、はちゃめちゃでのおもしろいです。特に印象に残っている場面は、主人公たちが外で訓練をしに行った時、新入隊員にドッキリをしかける時です。夜に「くまが出た」と言って新入隊員のテントの中に人形らしきものをなげ込むんですが、普通ならおどろいてにげたりするのに、主人公は「くまか!!」といって人形をなぐったことです。すごくおもしろいです。

△k.t・短大◎メディア良化法に伴い、もし好きな本がこの世の中から消えてしまったらどうしますか？私は許せな

いです。そんな主人公が図書館のトップ(タクスフォース)となり必死に本を守っていく姿に感動します。DVD も出ているので是非見てほしいです。

『海の底』

有川浩著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣主人公のカッコよさと、ヒロインの成長ぶりが素敵です。

『王妃の館』(上・下)

浅田次郎著 ■中宮

♣ゆり・短大♣フランスを舞台に、光ツアー・影ツアーの2組が観光するというストーリーで、歴史と並行していくのがとても興味深い話である。ルイ14世の愛の物語を当時のさまざまな登場人物の視点から語らせ、笑いから感動へと巧みに読者の心を転換させていく。歴史もわかり、勉強にもなる、とてもおもしろい作品である。

『ラスト・イニング』

あさのあつこ著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣人気小説「バッテリー」のサブキャラクターに焦点を置いたものなのですが、何を考えてるか作中ではよくわからなかったそのキャラクターの本心が知れて「バッテリー」と一緒にすごく楽しめるものでした。

『The MANZAI』(1-5)

あさのあつこ著 ■中宮

♣Kana・英米♣笑いもあり、感動もあり、高校の青春を思い出します。よく考えさせられます。

『人間失格』

太宰治著 ■中宮・穂谷 ♣英米

『富嶽百景』

太宰治著 ■中宮・穂谷

♣K・短大♣彼の中期の作品で、自分に自信がなく辛いことばかりを書いた初期の心境とは違って、生きる喜びが人間から溢れてくるような風景描写とセリフが魅力的だ。彼の作品歴からみても、最も文章が活き活きとしている作品の一つで、私は彼が一瞬でも報われたのだなあ、と感じた。

『ROMES06』

五條瑛著 ■中宮

♣英米♣最近ドラマにもなり、内容がおもしろいです。
♣いちご・英米♣「ただいま…ROMES」というセリフが忘れられない♡ ♣Mog・短大 ♣英米

『死ぬほど好き』

林真理子著 ■中宮

♣短大♣林真理子さんの本はおもしろい。ドロドロした恋愛がからんだ話が多いけど、現実的でおもしろい。

▼△東野圭吾作品△▼

『白夜行』

東野圭吾著 ■中宮・穂谷 ♣英米

『流星の絆』

東野圭吾著 ■中宮・穂谷

♣ピカ・短大♣ずっと信用していた人がまさか…という話で、登場人物のいろいろな知恵がおもしろいです。ドラマでも話題になった原作です。ドラマとは違った視点で読んでみてください。

♣みのわ・英米♣小さいときに両親を失った、兄・弟・妹の3人兄弟が、両親を殺した犯人をつきとめようとする。兄弟3人の推理がおもしろく、兄弟愛が素晴らしい。そして、犯人は意外な人物で、衝撃的な結末をむかえる。

『さまよう刃』

東野圭吾著 ■中宮・穂谷 ♣英米 ♣国際言語

『探偵ガリレオ』

東野圭吾著 ■中宮・穂谷

♣ともこ・短大♣ガリレオは、化学や物理を応用して事件を解決していく。けど化学や物理が嫌いな自分でも、読んでいて面白かった。なぜなら、誰が読んでも理解できるように、分かりやすく、面白く説明しているからだ。もともと作者の東野圭吾は理系が大好きで「自分が好きなようにマニアックな作品を書いた」とあるようにとても専門用語が多い。あまり、化学や物理に興味がなかった自分だったが、それらの分野に興味を持つきっかけを与えてくれた本である。外大にいと、理系とはかけ離れているので、気分転換に読んでみては？

『手紙』

東野圭吾著 ■中宮・穂谷

♣K・短大♣犯罪加害者側にスポットをあてた感動大作！人の「絆」とは何かを教えてくれる本です。

『パラレルワールド・ラブストーリー』

東野圭吾著 ■中宮

♣ムラサキりんご・英米♣東野圭吾さんの作品はほとんど最後まで結末が予測できないものばかりですがこの本は特に最後に驚きの結末が待っていて、本当におもしろかった。脳科学の話なので少し難しい部分もあった。

『どこかの事件』

星新一著 ■中宮

♣Omura Jhon・英米♣この本は短編のショートショートからなる物語で、とても読みやすい本です。1ストーリー10~20分ほどで読めるところも魅力の1つです。自分が予想していたものとはかけ離れた結末で、全ての物語は完結します。しかし、決して裏切らないのです。日常の、でも少し変わったファンタジーな物語がこの本一冊で楽しめます。

『アイ・アム・サム』

細田利江子/ノベライズ編訳 ■中宮

♣英米♣一生懸命に子供と向き合おうとするところ。

『ぼくの手はきみのために』

市川拓司著 ■中宮・穂谷

♣さき・短大♣ある女の子が心臓病を小さい頃から患って

いて、幼なじみの男の子が背中をさすると発作が治まるという不思議な話です。他の人がさすっても治らない、男の子の手は神の手だと多くの人が男の子のもとへ訪れますが、男の子の手で治るのは、幼なじみの女の子だけなのです。そんな世界で1つだけの組み合わせって感じが素敵だなと思いました。思春期の微妙な心境も書かれています。

『ナイン』

井上ひさし著 ■中宮

♣P・短大♣少年野球チームが大人になって、それぞれの道を歩んでいますが、やはり絆は変わらないという話です。私は、キャプテンに感動しました。子供の頃からきびしく時にはやさしかったキャプテンは、やり方は正しくなくても、何らかの形でチームメイトたちを助けています。最初はキャプテンのことをうらんでいたチームメイトたちも、後になるにつれてキャプテンのやさしさに気づき、なまけていた自分を見直すことになります。

▼△伊坂幸太郎作品△▼

『アヒルと鴨のコインロッカー』

伊坂幸太郎著 ■中宮・穂谷

♣この本を読んだとき、作者の思惑通りに、だまされてしまったと思いました。みんな、絶対にだまされると思うので、ぜひ!! ♣YM・短大♣おもしろい!

『ラッシュライフ』

伊坂幸太郎著 ■中宮・穂谷

♣とりっぴー・英米♣別々に起こった出来事が最後に全部つながっていきます!!絶望が描かれているのにあたたかく希望が感じられる本です!!勇気がもらえます!ちなみに映画化もされてます♡

『重力ピエロ』

伊坂幸太郎著 ■中宮・穂谷

♣英米♣家族の絆がうかがえます。

『NO CALL NO LIFE』

壁井ユカコ著 ■中宮

♣スペイン♣自由、わけのわからない人。けど、ただ淋しいだけかも。現実逃避。どんな場合でも、一生懸命で、それだけで、いっぱい。世界の中に入っている。そういう話。切ないけれど、元気になります。けど泣けます!

『君たちに明日はない』

垣根涼介著 ■中宮

♣ルシア・スペイン♣本当にやりたいことができるところはどんなところか。結末が素晴らしく、元気になれる!主人公はかわったヤツで、初めは浮いている気がするけれど、だんだん成長して落ち着いていきます。

『レヴォリューション No.3』

金城一紀著 ■中宮

♣めぐみ・短大♣この『レヴォリューション No.3』はシリーズものの第一作目です。ストーリーは、どういうわけか有名進学校ばかり集まっている新宿区において、陸の孤

島のごとく、たった一校だけ存在している典型的オチコボレ男子校の一部の生徒たちがザ・ゾンビーズなるものを結成し、名門女子高の学園祭に潜り込みナンパをしようとする、というアホらしいけど、決して笑えるだけじゃない、心がアツくなる、そんな作品です。私は、自信を持って「読まないで損!」と言いたいです。

『世界の中心で、愛をさけぶ』

片山恭一著 ■中宮・穂谷

♣トラファル・ガーロー・短大♣青春時代を思い出し、純粋な恋がしたくなる一冊です。

『虹色ほたる』-永遠の夏休み

川口雅幸著 ■中宮

♣短大♣めっちゃ感動!!12歳の少年の心境の変化もいい。そしてほたるの奇跡。

『ヘヴン』

川上未映子著 ■中宮・穂谷

♣ゆみ・短大♣この小説は少年と少女がいじめられている話で、同級生の男女に悪口を言われたり暴力をふるわれたりして、私は胸がしめつけられるような想いで涙がでてきました。少年は言いました…「出来事に良いも悪いもない、全ては結果にすぎないのだ」と。少女は言いました…「苦しみを、弱さを受け入れた私たちこそが正義なのだ」と。親にも誰にも言えないこの苦しみを抱え込んで生きていくのは本当につらいことだと思いました。

『ブラック会社に勤めてるんだが、もう俺は限界かもしれない』

黒井勇人著 ■中宮

♣小涼・短大♣中卒、元ニートのマ男が懸命に頑張る姿に注目です。藤田さんはカッコいい♡

『姑獲鳥の夏』(上・下)

京極夏彦著 ■中宮

♣じゃっく・短大♣主人公が他のミステリー小説と違って斬新。

『I met a boy.父の日に、バンビ公園で。』

松尾健史著 ■中宮

♣英米♣この本を読んで、自分に自信を持てるようになりたいと思った。

『ミッキーマウスの憂鬱』

松岡圭祐著 ■中宮・穂谷

♣いちご♡・短大♣夢の国とも呼ばれるディズニーランドでのアルバイトのお話です。自分が主人公になった気分ディズニーランドに居みたいで楽しく読めちゃいます(^_^)ディズニーランドの裏側が分かるかも!?

『ハゲタカ』

真山仁著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣投資ファンドとビジネスマンの面白さ。

『向日葵の咲かない夏』

道尾秀介著 ■中宮

♫ずんちゃん・英米♫現実と少し離れてはいたけれども、推理小説好きにはおもしろい一冊だと思います。物語の最後の解釈の仕方が人によって違うと思うので、他の人の感想もきいてみたいです。

『告白』

湊かなえ著 ■中宮・穂谷

♫英米♫一つの事件を軸に、友情・家族愛・復讐など色々な角度から見ることができました。

『贖罪』

湊かなえ著 ■中宮・穂谷 ♫短大

『潮騒』

三島由紀夫著 ■中宮・穂谷

♫スペイン♫大変心のすっきりする恋愛物語で面白い。

『風が強く吹いている』

三浦しをん著 ■中宮・穂谷

♫R・短大♫昨年、小出恵介主演で映画化もされた駅伝青春小説です。10人ギリギリで出場するのですが、それぞれの視点がクリアに描かれていて分かりやすく、感情移入しやすいです。今まで駅伝を見たことはありませんでしたが、今年は最後まで見入ってしまいました。かなり感動します!!

『レベル7(セブン)』

宮部みゆき著 ■中宮・穂谷

♫プリンちゃん・英米♫最後までハラハラドキドキでした!!!!

『カラフル』

森絵都著 ■中宮・穂谷 ♫英米

『夜は短し歩けよ乙女』

森見登美彦著 ■中宮・穂谷

♫短大♫京都を舞台にしたファンタジー作品で、美しい言葉使いでおもしろく書かれている。誰でも読みやすい作品です。

『五分後の世界』

村上龍著 ■中宮

♫よっちゃん・英米♫読み物でなく紛れもない小説である。現代人よ大いに考えて生きよ。

▼△村上春樹作品△▼

『ノルウェイの森』(上・下)

村上春樹著 ■中宮・穂谷

♫短大♫基本、村上さんの小説は、おもしろい。この「ノルウェイの森」は映画化されるし、上映前に読んだほうがよいのでは？

『海辺のカフカ』(上・下)

村上春樹著 ■中宮・穂谷

♫短大♫先のストーリーが全く読めない。途中まで本を読んでどうせこの後こうなるんだろうなと思いたくない人向け。

♫かっぱ・短大♫二つの異なるストーリーがやがて一つになる。上下巻あるのですが、とてもスラスラと読めて、様々なメッセージの含まれた作品なので一読の価値あります。

『ポートレイト・イン・ジャズ』

和田誠・村上春樹著 ■中宮

♫英米♫JAZZ好きは読むべし!

『走ることにして語るときに僕の語ること』

村上春樹著 ■中宮・穂谷

♫つるとんたん・英米♫遠い存在であるはずの村上春樹という作家が、土俵は違いながらも私たちと同じように試行錯誤しながら日々を送る姿に共感できる。彼のマラソンや作家という仕事に向き合う中で、自分で自分を鼓舞させる姿は実に尊敬できるものである。困難にぶつかったときにヒントになりそうな言葉がいたるところに散りばめられているため、大げさでなく人生のバイブルになりうる作品だろう。読み終わった後、自分の中でなにか奮い立つ気持ちになるはず。

『かもめ食堂』

群ようこ著 ■中宮・穂谷

♫国際言語♫癒しの一言です。「そんな上手いこといかないよー」と思いつつも出てくる登場人物たちがほのほのして気持ちや和やかになります。

『西の魔女が死んだ』

梨木香歩著 ■中宮・穂谷

♫短大♫おばあちゃんがすごい!

♫O・短大♫本にでてくる家や街の風景が、とてもどかでいよされました。最後には感動のシーンがあり、とても心が温まります。

『三四郎』

夏目漱石著 ■中宮・穂谷

♫阿修羅・国際言語♫三四郎が電車内で広田先生と話している時に広田先生が話した言葉。「日本は一、世界は一」

『神様のカルテ』

夏川草介著 ■中宮

♫ほし・国際言語♫「一に止まると書いて“正しい”と読む…」成功とは何か?幸せとは何か?命とは何か?地域医療の問題を絡めながら一人の医者を描いた傑作。

『西尾維新の戯言シリーズ』

西尾維新著 ■中宮

♫短大♫とにかく続きが気になります。作者の文章表現がうまく、物語に引き込まれます。主人公の名前が最後まで明かされず、ネット上で以前話題になりました。

『化物語』(上・下)

西尾維新著 ■なし

♣あずなん・短大♣ライトノベルには偏見があるかもしれませんが、西尾維新は面白い。テンポの良いかけ合いが楽しいです。日本語の勉強にもなると思います。

『クラインの壺』

岡嶋二人著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣あつという間に読んでしまいました。物語の映像が頭に浮かんできてドキドキ楽しい本です。

『イン・ザ・プール』

奥田英朗著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣伊良部さんのキャラが本当におもしろい!!なのに患者さんは治っていく!現実でありそうでなさそう!でもキャラは最高☆

『Q&A』

恩田陸著 ■中宮

♣3回生・英米♣話が、事件の真相を求めると、証言する人の対話で進んでいき、繋がりで、繋がらない進展にハラハラする内容だった。誰もが「分からない」ことだらけの不思議な事件の始まり。

『夜のピクニック』

恩田陸著 ■中宮・穂谷

♣のー・短大♣これから高校生活を送る人に読んでほしいです。高校時代を終えた人たちにも、自分の思い出と重ね合わせて当時のことを思い出してほしいです。

♣さおり・短大♣高校生の主人公が学校のメイン行事である、一日中かけて歩く行事がある。主人公は、自分にとっても似ていて、相手が気になるが話せないクラスメートがいる。その歩行を通して、お互いが周りの友達にたすけられながら、近づいていく様子が、とても青春で、最初と最後の変化のちがいが大きくておもしろかったです。

『ネクロポリス』(上・下)

恩田陸著 ■中宮

♣はるか・短大♣ネクロポリスはアナザー・ヒルという丘のある場所が舞台で、その土地は“ヒガン”という行事があり、その時期に死者がアナザー・ヒルへ戻ってくる事ができる異世界の話です。そのアナザー・ヒルで連続殺人や不可思議なことが起こります。

『失はれる物語』

乙一著 ■中宮

♣ベーコン3・短大♣事故にあい目もみえないし、しゃべれない。残ったのは手の感覚だけで、指を動かし家族と話すしかない。といったとても切ない物語です。

『ZOO』(1,2)

乙一著 ■中宮・穂谷

♣短大♣意味不明な世界がおもしろいから。

『東京タワー』-オカンとボクと、時々、オトン

リリー・フランキー著 ■中宮・穂谷

♣英米♣母子愛の美しさに感動しました。

♣短大♣1人暮らしの人に読んでもらいたい。あと、家族のことについて考えさせられる。

『ボロボロになった人へ』

リリー・フランキー著 ■中宮

♣短大♣気持ちが不安定なときに、いやされます。

『一瞬の風になれ』

佐藤多佳子著 ■中宮・穂谷

♣スペイン♣「おまえらがマジで競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」「そういうレースがあるよね。きっと誰にも。一生に一回……みたいな」「この決勝走れて、どんなに嬉しいか、言葉じゃ言えねえよ」すごく、すがすがしい気持ちになります。テンポよく、中に入り込んでしまいます。

『その日のまえに』

重松清著 ■中宮・穂谷

♣a・英米♣命の大切さを考えさせる本です。感動して自然と涙が出ます。

『東京バンドワゴン』 小路幸也著 ■中宮 ♣短大

『冷静と情熱のあいだ Blu』

辻仁成著 ■中宮・穂谷

♣Mai・短大♣大学の時に付き合っていた恋人との10年後の30歳の誕生日にイタリアのフィレンツェのドゥオモにのぼるという約束を思いながらフィレンツェで絵の修復の仕事をする人の物語。フィレンツェの美術館や観光名所もいっぱい出てくるのでイタリアに行く前に読んでたら旅行がめっちゃ楽しめる!!

『リアル鬼ごっこ』『Aコース』『Fコース』

山田悠介著 ■中宮・穂谷

♣M・短大♣ハラハラする!

『スイッチを押すとき』

山田悠介著 ■中宮

♣クローバー・短大♣本の内容は少し暗く途中から怖くなるが、読み終えた後、少し感動と考えさせられる本です。

『アイの物語』

山本弘著 ■中宮

♣クリスチャン・英米♣近未来的でSF要素が満載。読んでいると胸が温かくなったりきゅんとなったり。人間とロボットが共存する愛の、1の物語。

『大地の子』

山崎豊子著 ■中宮・穂谷

♣日本の定食・英米♣日本人なら誰もが学ぶべき、知るべきである「戦争」が包み隠さず描かれており、ストーリー性100%でありながら、日本・中国・満州の関係性も少

なからず学ぶことが出来ます。友人、家族、恋人、大切な人がいるから生きなければならない、その人に再び会うために……。いつその時が来るのかもわからないが、人生を1日1日噛みしめ生きる姿は、見習うべきものがありました。決して明るい話ではありませんが、現代に欠けているものを知ることができる本だと思います。是非、「本」で読んで頂きたいです。

『陰陽師』

夢枕獏著 ■中宮

♣御恵美裕・スペイン♣単純にストーリーが面白い上に、情景の描写や表現が綺麗です。ワクワクドキドキできるのに、古典的な美しさもあってオススメです。

『99のなみだ』

リンダブックス編集部 ■穂谷

♣ジェーン・国際言語♣人間は、出会いや別れをくり返しながら成長していきます。この本は、出会いや別れから、また予期せぬ出来事が起こることによって大切な人の“ありがたさ”を学ぶという話を集めた本です。物語に涙し、心が洗われ、自分自身も大切な人の“ありがたさ”が身にしみ、これは、そんな本です。(現在『99のなみだ』『99のなみだ雨、空、風、花、月』の6冊が発売されています)

『Story Seller』

新潮社ストーリーセラー編集部編 ■中宮

♣なし・短大♣私はあまり本を読まないほうで、好きな作家もいません。なので本を買う時には迷ってしまいます。しかしこの本はいろいろな作家さんの短くおもしろい話があります。

『天使がくれたもの』

Chaco 著 ■なし

♣短大♣この本は高校生の時読んだ本なのですが、最近またこの本を読みとても感動しました。好きな人には「好き」と伝えなさいというメッセージが詰まった本だと思います。

♣“☆チビちゃん☆”・短大♣この本は、携帯小説が本になったもので100万人が涙した感動ストーリーです。「天くれ」で学んだものは1分1秒を大切に作る気持ちと、人との出会いの大切さ、そして愛する人への思いやりです。この本を読むと、きっと明日からの人生が変わると思います◇

『恋空』-切ナイ恋物語

美嘉著 ■穂谷

♣カピバラさん・短大♣恋空は、作者の実体験を元に作られています。もともと、携帯小説だったのですが後に書籍化、さらに映画化もされています。とても切ない恋物語で自分と重なることもあり感動出来ると思います。

♣みか・英米♣純粋な恋がしたくなるような物語です。
♣ベーコンII・短大♣携帯小説から始まったもので、実話です。彼氏のヒロが白血病?(ガン?)におかされて、死んでしまう話です。映画にもなってすごく感動しました。
♣rurururun・スペイン♣命の大切さがわかる本です。

小説-海外の作家

『銀河ヒッチハイク・ガイド』

ダグラス・アダムス著・安原和見訳 ■中宮

♣ドリヒ・英米♣地球がなくなったから、平凡なイギリス人と宇宙人たちがロケットにヒッチハイクしてみた。そして宇宙は広がった。青くはなかった。何かしら「問題有」な人(ロボット含む)の珍道中。ま、よーするに42。読んだらいいと思うよ。悩んでたら。

『スペシャル・ゲスト』

リー・アレン著・小畑一美訳 ■なし

♣国際言語♣なんだかとても不思議な感じがします。お話の中に出てくる1人の老人がキーパーソンです。

『The wizard of Oz』

ライマン・フランク・ボーム著 ■中宮・穂谷

♣玉井菌・短大♣アイアンマンが可愛い!!感動のフィナーレが待っている!!ワンピースよりもファンタジーである!!

『メディエータ』-ゴースト、好きになっちゃった

メグ・キャボット作・代田亜香子訳 ■中宮

♣短大♣主人公の霊能力をもつ女の子、スザンナ・サイモンが幽霊であるジェシーに恋をする場面が印象的。

『チョコレート工場の秘密』

ロアルド・ダール著・クエンティン・ブレイク絵・柳瀬尚紀訳

■中宮・穂谷

♣たこやき・国際言語♣内容がおもしろい!話しに引きこまれる!ワンカのチョコはおいしい。

『ショコラ』

ジョアン・ハリス著・那波かおり訳 ■中宮 ♣英米

『白い果実』

ジェフリー・フォード著 ■穂谷

♣セイ・国際言語♣とにかく世界観がすごく独特で、不思議な読後感があります。また、この本は3部作の1作目で世界幻想文学大賞の受賞作品です。主人公のクレイの観相官という人の外見から性格などを判断する職業、科学と魔法の理想形態市、特殊な白い果実…とても読み応えがあります。

『日はまた昇る』

ヘミングウェイ著 ■中宮・穂谷

♣じゅんちゃん・短大♣歴史が見えてくる。

『ガープの世界』(上・下)

ジョン・アーヴィング著・筒井正明訳 ■中宮・穂谷

♣ねずみ♣アメリカにも日本のママゴンのような母親がいることにびっくりした。奇想天外の笑いの中に「生」「死」「暴力」「嫉妬」「家族愛」と盛りだくさんで、文庫本(上・下巻)2冊と長編ではあるが、あっという間に読み終えることができた。

『The giver』

ロイス・ロウリー著 ■中宮・穂谷

♣英米♣規則は大切と言われる現代、生きてる世界がすべてルールによって決められた人生だと自分はどうなるか…。色々と考えさせられます。

『トワイライト』

ステファニー・メイヤー著・小原亜美訳 ■中宮・穂谷

♣英米♣ヴァンパイアと人間の恋にドキドキします。早く先が知りたくなります。

♣こゆり・国際言語♣女の子におすすめ！恋がしたくなる。

▼△ハリー・ポッター△▼

『ハリー・ポッター』[シリーズ]

J.K.ローリング文・松岡佑子訳 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣7巻もあって長いけど、最後には全部なぞがつながってとてもおもしろいです。♣chicken・英米

『ハリー・ポッターと賢者の石』

♣ロニ・短大♣冒険のワクワク感と魔法が使いたくなる。

『ハリー・ポッターと秘密の部屋』

♣black☆モコモコ・短大♣印象に残った場面は、部屋に閉じ込められていたハリーを、魔法で空を飛べるようにした車でロンと兄が迎えにくる場面です。寝ていたハリーのおじさん、おばさん、ダドリーが目覚まし、行くのを止めようとしますが、無事にハリーはロンの車に乗ることができました。

『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』

♣k-s・英米♣ハリー・ポッターとアズカバンの囚人はハリーが、囚人を助けに行くというストーリーです。また、ハリーとハーマイオニーが彼氏と彼女になるのも、見どころです。作者一押しの作品です。是非読んでください。

『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』

♣なかじ・短大♣話の内容がとても複雑でとても頭を使いました。その分内容が濃くおもしろかったです。

『ハリー・ポッターと死の秘宝』

♣英米♣魔法にかかります。

『キャッチャー・イン・ザ・ライ』

J. D. サリンジャー著 ■中宮・穂谷

♣国際言語♣主人公が崖の近くにおいて、子ども達が麦畑の中において、子どもが崖から落ちそうになるのをその主人公が止めるという考えを語る場面が一番印象的でした。

『ダレン・シャン』[シリーズ]

ダレン・シャン著・橋本恵訳 ■中宮

♣マルガリータ・短大♣ストーリーが面白いのでつづきが気になる。ブラックな部分もあるけどそれがイイ!!展開がよめないので読むのが楽しい!

♣Y.U・短大♣クレスプリーとダレンの旅でいろいろな場

面があり、すごくスリルがあって、おもしろかった。昔友達とみんなハマった。子供から読めて、大人でもハマると思います。

♣短大♣展開がよめなくて楽しめる。

『青空のむこう』

アレックス・シアラー著・金原瑞人訳 ■中宮・穂谷

♣短大♣涙が止まりませんでした。登場人物は少年。少年が両親、友達に“さよなら”を伝えに行くお話です。

♣短大♣主人公の男の子がこの世にやり残したことがあって、そのやり残したことをやりに、現世に帰ってくるというストーリー。つねに、後悔をしないで生きようというメッセージが伝わってきます。♣238・国際言語♣感動

『指輪物語』

J.R.R.トールキン著 ■中宮・穂谷

♣鈴音・短大♣「The lord of the rings」だけでも楽しめるけど、「シルマリルの物語」や「ホビットの冒険」などリンクした世界があるから長く読める。

『ハックルベリー・フィンの冒険』

マーク・トウェイン作・西田実訳 ■中宮・穂谷

♣ぶよよ・英米♣誰もが知ってるトム・ソーヤ、彼の友人ハックルベリー・フィンことハックの、自由を求めミシシッピ川を下る冒険小説です。まだアメリカに奴隷制度があった頃、黒人奴隷の友人ジムとハックは一騒動あり筏を手に入れます。アメリカ大陸を我が物顔に横断するミシシッピ川を、二人は途中多くの人と出会い、たくさんの問題に巻き込まれ、お互い葛藤をすることになります。ハックの成長には目が離せません。原文で読むことをおすすめします!

『プラダを着た悪魔』(上・下)

ローレン・ワイズバーガー著・佐竹史子訳 ■中宮 ♣英米

『ペギー・スー』[シリーズ]

セルジュ・ブリュソロ著・金子ゆき子訳 ■中宮

♣ちよこ・短大♣ペギーはおばけが見える目を持ってて変人扱いされて友達がいない。青い太陽でおかしくなった動物に人間があやつられるけどペギーは戦う。青い犬と友達になったり仲間も増える。普通のファンタジーよりちょっと残酷で考えさせられる。

『十五少年漂流記』

ジュール・ヴェルヌ著・波多野完治訳 ■中宮・穂谷

♣わかめ・短大♣この本は、海外ドラマ「LOST」に少し似ています。年齢が15歳までの子供が漂流されてしまうお話です。15歳の子供がこんなにしっかりしているなんて、頭がいいやつは考え方が違うな、と考えさせられる本です。

『グッドラック』

アレックス・ロビラ、フェルナンド・トリアス・デ・ベス著

田内志文訳 ■中宮・穂谷

♣Oasis・短大♣非常にためになる本だと思う。書いてあることは「なるほど」や「ためになるなあ」と思うことが

たくさん書いてあります。ページ数も少ないので非常に読みやすいです。人生のバイブルとして一冊持っていては？
 ♪Kitty・短大 ♪昔から何度も読み返しているのですが、読むたびに考え方が変わる気がします。目次ごとに一言ずつ言葉があるのですが、とても興味深いです。

♪短大 ♪この本は、とても勇気づけられる本です。幸運は待っているだけでは、見逃してしまいます。自分から行動し積極的になれる言葉がたくさん書かれています。

『El alquimista』(アルケミスト-夢を旅した少年)

Paulo Coelho 著 ■中宮・穂谷

♪スペイン ♪-Porque tienes que vivir tu leyenda personal. -Cuando una persona desea realmente algo, el universo entero conspira para que pueda realizar su sueño. すてきなことばを沢山みて、感じてときどきできます。

▼△ 詩 △▼

『ベーオウルフ』-中世イギリス英雄叙事詩

忍足欣四郎訳 ■中宮・穂谷

♪スペイン ♪主人公がかっこよかった。

▼△ 戯曲 △▼

『ガラスの動物園』

テネシー・ウィリアムズ著・小田島雄志訳 ■中宮・穂谷

♪短大 ♪授業の課題で読んだけど、分かりやすい内容で読みやすかった。

▼△ 絵本 △▼

『The giving tree』

シェル・シルヴァスタイン著 ■中宮・穂谷

♪英米 ♪何をされても男の子のことが大好きな木と何をもらっても満たされない男の子の一生が描かれている絵本です。考えさせられます。

エッセイ・生き方

—暮らしのビタミン—

『働く人の夢』-33人のしごと、夢、きっかけ

日本ドリームプロジェクト編 ■中宮・穂谷

♪タクト・国際言語 ♪この本に出てくる人は、みんな辛いことがあっても、自分の仕事に誇りをもって楽しんでるのが伝わってくる。僕も今就活中なので、この本に出てくる人のように誇りをもって仕事ができる人間になりたいと思った。

『夢をかなえるゾウ』

水野敬也著 ■中宮・穂谷

♪ベーコン・短大 ♪自称神様のゾウが人生の成功の為に出す課題がおもしろいです。「くつをみがく」や「募金をする」など身近なことについて自分もやろうかなと思ってしまう。自分の為にもなるし読むのも楽しいです。
 ♪英米

『「心の掃除」の上手い人下手な人』

斎藤茂太著 ■中宮

♪ばず・短大 ♪悩んだときに読むとすぐためになった!!

『求めない』

加島祥造著 ■中宮

♪K・短大 ♪「求めない」で始まる詩を集めた詩集です。この本で言われている「求めない」とは全ての欲を捨てるということではなく、本当に必要なもの以外は求めないということで、この本を読んで今自分がどれほど満ち足りているかに気づくことができました。

『百鬼園随筆』

内田百閒著 ■中宮

♪ドリヒ・英米 ♪夏目漱石の弟子の一人で鉄道オタクで頑固でしかもツンデレなおちゃんが日常の出来事を毒や笑いを含めてつぶっている。一話一話が短いので、息抜きに丁度良い。おいしいお酒を飲んでいるような気分になれる。日常の中に入り込んでくる非日常があほらしくて笑える。彼に言わせると、借金は錬金術らしい。表紙は芥川龍之介が描いている。

『届かなかったラブレター』

届かなかったラブレター発刊委員会編 ■中宮

♪短大 ♪この本は死んでしまった人や別れてしまった人など今はもう届けられない人にあてた手紙を集めた本です。感謝の手紙や謝罪の手紙、内容は人それぞれですが、どの手紙も心に響くものです。

『こころのチキンスープ』

ジャック・キャンフィールド、マーク・V・ハンセン著 ■中宮・穂谷

♪マグモグ・スペイン ♪全部実話です!! 本当はおススメ! って紹介するのがおいしい作品なんです、やっぱりいいものはみんなに知ってほしい! 感動します。でもなんだか生きていく勇気や愛をもらえる実話集だと思っています。ぜひ読んでください!!

『涙の数だけ大きくなれる!』-明日を生きる「自分へのメッセージ」

木下晴弘著 ■穂谷

♪月・国際言語 ♪進路、人生、仕事…私たちはたくさんの場面で辛いと感じます。「もう前へ進めない…」と感じてしまうこともあります。私もそうでした。そんなとき、大学の先生にすすめられて読んだこの本は、私にもう一歩がんばる元気をくれました。数々のがんばる人たちの物語を読むことができました。特に心に残った話は、Youtube上で話題になった『レジ打ちの女性』の物語。何をやってもし長続きしない女性が、ある日出会ったレジ打ちの仕事、彼女の心はどう変化するのでしょうか。将来に迷っている人、夢を諦めそうな人、この本を読んで前に進んでみませんか?

『100%幸せな1%の人々』-「すべてが幸せ」になる59の法則

小林正観著 ■穂谷

♪ポストキムタク・国際言語 ♪人生(様々な人生上に起こる不幸も一瞬で解決できる)の指南書! 人間レベルを超えた

聖人君子級の超一級の人徳になれる(誰でも“心”次第で)。最高の一冊。

ノンフィクション

—人生のキセキ—

『だから、あなたも生きぬいて』

大平光代著 ■中宮・穂谷

♣短大♣祖母が亡くなる直前まで、不良になった孫のことを思って「替ってやりたい」と言っていたことに感動した。

『虹とひまわりの娘』

本郷由美子著 ■中宮

♣Dis パンピー☆・英米♣命の大切さと、親子の愛を学べます。

『あおぞら』

星野夏著 ■中宮

♣ミニ・短大♣最後に彼氏が死んじゃう話なんですが、普通に生活している中で、急に好きな人が死んだらどうなるんだろうと考えながら読んでいました。その中で、本当に毎日があることは素敵なことだと思いました。

『十七歳』

井上路望著 ■中宮

♣M・短大♣女子高生の著者がいじめの実体験や家族、恋愛についてなど隠すことなく書いていて、忘れられない本になりました。高校生のときに読んだらとても共感できるし勇気をもらえらると思います。

『ユウキ』-世界で8番目のたたかいに勝った男の物語

岸川悦子著 ■中宮

♣C.b・短大♣どれだけ窮地に立たされても、周りの人の助けを借り、必死に病氣と闘う内容。支えてくれる人が居るのは、主人公が周りの人から慕われているからだとは思っているので、私も主人公のような人間になりたいとこの本を読んで強く感じました。

『1リットルの涙』-難病と闘い続ける少女亜也の日記

木藤亜也著 ■中宮・穂谷

♣英米♣ドラマ化された原作です。ドラマとはまた違って、本人の言葉で書いてあるので、気持ち伝わってきます。
♣英米♣本当に感動します(/_ _)♡

『鬱病ロッカー』

兒玉怜著 ■中宮

♣レッドパンツ・短大♣鬱病になったアーティストの、精神病との戦い。

『最後の授業』-ぼくの命があるうちに

ランディ・パウシュ・ジェフリー・ザスロー著 ■中宮・穂谷

♣Makoto・短大♣余命4ヶ月と宣告された、アメリカの大学教授の話なんですけれど、彼の残りの人生の過ごし方を読んで、家族に対する愛や自分と向き合うことの大事さ

などを感じました。自分も1日1日を大切に過ごしたいと思いました。

『It(それ)と呼ばれた子』

デイヴ・ペルザー著・田栗美奈子訳 ■中宮・穂谷

♣短大♣この本を読むと、今自分の置かれている状況にたいして恵まれているんだということに気が付く。親のありがたさ、友達のありがたさ、ご飯を食べれるありがたさ等、何でもいいので何か感じとって下さい!!

『アシュリー』-All About Ashley

アシュリー・ヘギ著 ■中宮

♣ミルクティエー・短大♣アシュリーという名前の女の子は普通の人の10倍の早さで年をとっていく難病をかかえています。この女の子は死んでしまいましたが、人生の生き方を13歳ながらに書いた本です。

『みじかい命を抱きしめて』

ロリー・ヘギ著 ■中宮

♣ちか・短大♣この本はプロジェリアという難病を抱えていた故アシュリー・ヘギちゃんの母親のロリーさんが書いた本です。とても「生きる」ということを考えさせられる本です。彼女は重い難病を抱えていても決して弱音は吐かないし本当に性格も明るく前向きで精神的にとっても強い女の子です。自分が普段悩むことも本当にちっぽけに感じました。この本で色んなことを感じ取れると思います。おすすめします。

教養

—血となり肉となる—

『人生の短さについて』

セネカ著・茂手木元蔵訳 ■中宮・穂谷

♣よっちゃん・国際言語♣何の為に生きるか、何に時間を費やすか、人生が長いのか、短いかを決めるのは、あなた自身。

『児童文学の世界』

河合隼雄著 ■中宮・穂谷

♣英米♣家族に暴力をふるう子供が言った言葉「この家には宗教がない」

『世界不思議大全』

泉保也著 ■中宮

♣短大♣UMAやキリスト教やMen In Brackや地球空洞説が面白かった。フリーメーソンの話も面白かった。でも夜眠れなくなる。

『空想科学読本』

柳田理科雄著 ■中宮

♣短大♣ウルトラマンや仮面ライダーが本当に存在できるかを科学的に検証する。

『世界がもし100人の村だったら』

池田香代子著 ■中宮・穂谷

♣DIESEL・短大♣この本はテレビで放送され、同時に大ヒットした本です。この本には少しの文章と絵しか載っていませんが、とても簡単に世界の現状を知ることが出来る本だと思います。私が日本に生まれたこと、そして今普通にご飯を食べ学校へ行き、家族の元へ帰る。こんな日常がとても幸せなことなんだと感じました。これを書いている間にも地球のどこかで助けを求めている人々がたくさんいると思います。この本を読むと何か世界への考え方が変わるのではないかと思います。

♣ピコ・短大♣TV番組でも特集されていました。私たちが知らない、世界中の子供たちが、今、どんな状態にあるのか、ということを紹介されており、今後、私たちはどうしたら良いのか考えさせられます。今、こうして私たちが何げなく暮らしている時でさえも、世界中ではいろいろな事件や紛争が起こっていて…

『ALL YOU NEED IS GREEN』-コザイ教授とツギハラ社長が考える「環境と貧困」

古在豊樹・次原悦子著 ■中宮

♣英米♣環境問題や貧困問題にあえていっている、その原因をつくっているのは、ほかならない私たち自身。

『あなたの夢はなんですか?(part2)』-僕の夢は人間になることです。

池間哲郎著 ■穂谷

♣短大♣ストリートチルドレンの、あまり知られていない実態が(誰にでも)分かりやすく読める。

『笑う入試問題』

新保信長著 ■中宮

♣小涼・短大♣「大学入試の問題ってこんなにヘンテコだったの!?!」とってしまう本。作者のツッコミがおもしろすぎて思わず笑ってしまいます。

『地球温暖化』-人類滅亡のシナリオは回避できるか

田中優著 ■中宮・穂谷

♣イチゴ・短大♣地球の温暖化がだいぶ進んでいて、このままいけば、本当に地球は滅亡してしまうのではないかというのを思い知らされました。これから私たちは何をしなければならぬかを考えていかなければならないと思います。

『オニババ化する女たち』-女性の身体性を取り戻す

三砂ちづる著 ■中宮・穂谷

♣FM・短大♣女性として生まれてきたことに誇りを持つような一冊です。若い世代の人に是非読んでほしいです。考えが変わります。

『マリファナの科学』

レスリー・L・アイヴァーセン著・伊藤肇訳 ■中宮・穂谷

♣ジェームズ・F・ライアン・国際言語♣マリファナは一般に悪いイメージがあるが、一概にそうとは言えないと思った。物事には良い面があれば悪い面もある。その逆も然り。その両方を知り、吟味することが大事なのだと感じた。

『ウェブはバカと暇人のもの』-現場からのネット敗北宣言

中川淳一郎著 ■中宮

♣レッド・短大♣この本は普通とは少し違った視線から、ウェブのヘビーユーザーやネットについて書かれていて、よくネットを使う私にとって、とても面白く同感出来ることがたくさん書かれています。是非ネットをよく使われる方に読んでいただきたいと思います。

偉人伝

-歴史に名を残す-

『竜馬がゆく』(1-8)

司馬遼太郎著 ■中宮・穂谷

♣英米♣この本で幕末のことがわかり、すごく勉強になりました。司馬遼太郎目線なので事実かわからないですが、坂本竜馬が好きになりました。

♣ポール・短大♣坂本竜馬を中心に幕末の物語。

♣短大♣歴史ブームに便乗して読んでみたらいいんじゃないですか。

♣Dj・短大♣平民の竜馬が日本を変えようと小さなことからコツコツと努力をしていく様が、すごく尊敬できます。

『戦国仏教』-中世社会と日蓮宗

湯浅治久著 ■中宮・穂谷

♣スペイン♣日蓮がどういう生涯を送り、どのようにして法華の思想を持ったのかわかりやすく書かれています。

『三国志』

羅貫中著 ■中宮・穂谷

♣ウッズ・短大♣実際にあった歴史上の出来事というのがおもしろい。それも日本が卑弥呼のころにあった話。

『三国志』

北方謙三著 ■穂谷

♣やたらめったら・国際言語♣三国志は知っているも内容はいまいち知らなくて一度読んだらほまる。諸葛孔明の考えはすごい。

『ガンジー自伝』

ガンジー著 ■中宮

♣英米♣一度はこの本を読んでガンジーの生涯、言葉に触れてみて下さい。心に響くコトがたくさんあります。

『マリー・アントワネット』(上・下)

シュテファン・ツワイク作 ■中宮・穂谷

♣短大♣ベルばら好きな人はもちろん、そうでない人も、フランス革命とその時代背景や、マリー・アントワネットとルイ16世の性格やその時々的心境や行動を、詳しく正しく知ることができるので、面白いです。♣英米



語学

ーコミュニケーションカー

『人は「話し方」で9割変わる』

福田健著 ■穂谷

♣国際言語♣相手と話す際は、1秒以上目を合わせる。

『世界中の言語を楽しく学ぶ』

井上孝夫著 ■中宮・穂谷 ♣短大

『外国語を身につけるための日本語レッスン』

三森ゆりか著 ■中宮・穂谷

♣堂島ロール・短大♣外国語を身につけたいのであれば、この本を読んどいた方がいいよ。

旅の記録

ー地図は真っ白ー

『行かずに死ぬるか!』-世界9万5000km 自転車ひとり旅

石田ゆうすけ著 ■中宮

♣シアトルズベストコーヒー関西外大店・英米♣7年かけた世界一周、自転車の旅。就活?進学?ふざけん。自転車乗って世界見てこい。型にはまった大学生に向けて、人生をどう生きるかを問いかける一冊です。

『FREEDOM-フリーダム』

高橋歩著 ■中宮・穂谷

♣いろはす・短大♣高橋歩さんの人生を前向きに自由に生きていける言葉が115(?)個くらいのっています。読むと前向きになれ、がんばろうっていう気になれます。写真もとてもすてきです。

♣としちゃん・国際言語♣夢は逃げない、逃げるのはいつも自分。未来のために今を耐えるのではなく、未来のために今を楽しむ。

『LOVE & FREE』-世界の路上に落ちていた言葉

高橋歩文・写真 ■中宮・穂谷

♣短大♣人生観が変わる!!世界中を旅したくなる!

♣英米♣写真もあっていい感じです。

『WORLD JOURNEY』

高橋歩編著 ■中宮・穂谷

♣R・短大♣世界の写真がたくさんあって、旅費やアドバイスなどもたくさん書かれてあって読んでいて楽しいし、勉強になります。

『学生よ、旅に出ろ!』-現役大学生の世界一周物語

長尾良祐著 ■中宮

♣nagaryo・英米♣読めばわかります。著者が関西外大在学学生という点もおもしろい。



動物の物語

ーいのちのぬくもりー

『ありがとう大五郎』

大谷英之写真・大谷淳子文 ■中宮

♣短大♣家族愛と命について考えさせられます。

『捨てられたいのちを救え!』-生還した5000匹の犬たち

石井文子著・木部克彦編 ■中宮

♣小涼・短大♣動物が好きな人もそうでない人も、捨てられてしまった犬たちの現状を知ってもらえることができるので読んでほしいです。

『目の見えない犬ダン』

大西伝一郎文・山口みねやす絵 ■中宮

♣小涼・短大♣「盲導犬は人を助けてくれるのに、目の見えない犬はどうして捨てられるの?」小学生の女の子のこの言葉に考えさせられました。

『奇跡の母子犬』

山下由美著 ■中宮

♣小涼・短大♣インターネット上で話題になった実話です。母犬と動物管理所の職員さんとの絆に心打たれます。動物が好きな方、そうでない方もこういう(捨てられたりして殺処分される動物たちもいる)真実もあるということを知ってほしいです。

『捨て犬トッティ』(上・下)

新澤ハルカ著 ■中宮

♣小涼・短大♣捨て犬であるビーグル犬「トッティ」が「ぼんこつ山」から逃げ出し、夢に出てくる女の子を探すために冒険します。とても厚い本ですが、トッティ達と一緒に冒険しているような気分になれます。プードルの「ミーナ」、柴犬の「ルピィ」など可愛い仲間たちもたくさん☆

『ころわんちよろわん』

間所ひさこ作・黒井健絵 ■なし

♣小涼・短大♣風邪をひいてしまったちよろわんのことをずっと考えているころわんをみて、心打られました。正直うらやましいです。大好きな絵本シリーズ。

『ルドルフとイッパイアツテナ』

斉藤洋作・杉浦範茂絵 ■なし ♣短大



『いつでも会える』

菊田まりこ著 ■中宮

♣あーか・短大♣大切な人を失ってしまったときに出会った本です。どんなにつらいと思っていても、心の中にみんながいて見守ってくれている、ということに改めて気づけた本です。ぜひみんなに読んで、ほっこりしてもらいたいです。

コミック

—キャラクターの魅力—

『One piece』

尾田栄一郎作 ■中宮・穂谷

♡英米♡仲間の大切さがわかります。

♡Koi chan・短大♡笑いもあり、感動もある素敵な海賊物語。登場人物も一人一人こっていて、ひかれるキャラクターばかりです。

『漂流教室』

椋図かずお著 ■穂谷

♡とまと・短大♡未来の世界が描かれているんです。めっちゃSFやけど、めっちゃおもしろいです。

『Slam dunk』

井上雄彦著 ■中宮

♡KUMI・短大♡スラムダンクの一番の魅力は臨場感あふれる動きのある絵です。まるで自分がその場において目の前で試合が行われているような気持ちになります。ケンカばかりしていた主人公がバスケットボールを通して身も心も成長していく姿が印象的です。この話の中で心に残った言葉は、「あきらめたら、そこで試合終了ですよ」という安西先生の言葉です。

『スラムダンク勝利学』

辻秀一著 ■中宮

♡松本篤人・短大♡負ける気がしなくなり、向上心が高まる。

あの人の本

—有名人のあれこれ—

『ホームレス中学生』

田村裕著 ■中宮・穂谷

♡短大♡家族の温かみや人とかかわりの大切さがわかる本です。芸人の麒麟の田村裕の昔あった話です。とても感動できます。

♡なび・短大♡人生嫌なことばかりではないと思います。希望を捨てずに努力しつづければいつかは報われるんだ！と不幸ばかりの主人公に元気づけられました。

『好きか、嫌いか』—松本人志の二元論

松本人志著 ■なし

♡あゆ・英米♡まっちゃんのコメントが、おもしろい。

『京大芸人』

菅広文著 ■なし

♡短大♡京大に受かる勉強の仕方とかがわかる！

『ベッキーの心のとびら』

ベッキー著 ■なし

♡よーりーず・英米♡この本にはとても元気をくれるよう

な言葉がたくさんつまっています。悩んでいるときや自分に自信のないとき、行き詰ったときにこの本を読みました。そしたら、自分になかった言葉、気づいていなかった言葉、忘れていた言葉がつまっていました。ベッキーみたいな考えになりたいと思えるようになり、行き詰っていたことも前向きに頑張ることができました。是非、みなさんに読んでもらいたいです。

『適当男のカルタ』—純次のことわざブック

高田純次著 ■なし

♡Mr.Young・短大♡内容がくだらなさすぎて、笑えます。あまり長くないので気軽に読めると思います。特に男性にすすめたい本です。

『なぜ阪神は勝てないのか?』—タイガース再建への提言

江夏豊・岡田彰布著 ■なし

♡cws・短大♡阪神のOB 江夏氏と元阪神(現オリックス)の岡田監督との対談です。どんな内容かは自分で確かめて下さい。多少笑います^^

お気に入りの一冊は
見つかれましたか？

—アンケートにご協力ありがとうございました—

□アンケート回答総数

中宮	穂谷	合計
193	25	218

□人気作品ランキング

タイトル	回答数
◎『ハリー・ポッター[シリーズ]』	7
◦『ROMES06』 五條瑛著	4
◦『竜馬がゆく(1-8)』 司馬遼太郎著	4
◦『恋空』 美嘉著	4
◦『グッドラック』 アレックス・ロビラ著	3
◦『ダレン・シャン[シリーズ]』	3

□人気作家ランキング

著者名	回答数
◎東野圭吾	7
『白夜行』『探偵ガリレオ』 他	
◦伊坂幸太郎	5
◦村上春樹	5
◦恩田陸	4
◦高橋歩	4
◦有川浩	4